

IEC/TC108/HBSDT会議報告

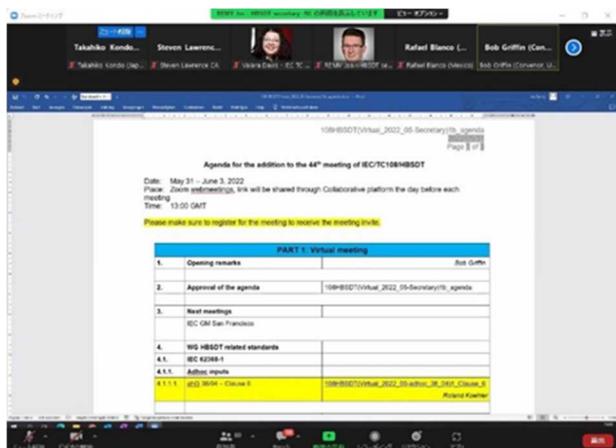
COVID-19の影響によるオンライン会議としては5回目となる、IEC/TC108/HBSDT会議が2022年5月31日～6月3日に開催されました。20カ国から、70名以上の参加があり活発な審議が行われました。今回は会議の状況や審議事項等を報告いたします。

【オンライン会議の状況】

会議の参加にあたっては、IECの会議登録システムを通して、事前に参加登録を行う必要があり、登録したメンバーには参加に必要なリンクが、次の注意事項とともにメールにて知らされます。

- ・主催者の管理及び時間通りの開始のため、15分前に会議に参加すること
- ・名前は、名・姓・国の順で表示させること
- ・発言をしていないときはミュートにすること
- ・発言をする際は挙手機能を使用して、議長が発言を許可するまで待つこと
- ・帯域幅の最大化のため、ビデオは使用しないこと

これらの注意事項に従うことで、70名以上の参加があるにもかかわらず、スムーズに進行されています。



オンライン会議の画面

会議は5月31日～6月3日の4日間を予定して開催しましたが、当初予定していたすべての審議が終わり、7月27日～28日に追加の会議を行う予定としています。

【HBSDT会議での主な審議内容】

IEC 62368-1は、オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全性要求事項を規定している規格です。初版は2010年に発行されましたが、この規格の普及に多くの時間がかかっており、2018年に発行された第3版が多くの国や地域で採用されるようになってきました。

今回の会議では、次の版となる第4版のドラフト（108/767/CDV）に対して、各国から寄せられた344件のコメントの内、主に技術的なコメントに対する審議を行ったとともに、アドホックグループで検討していた事項などについても審議しました。主な内容を次に示します。

- ・一般人又は教育を受けた人が工具を使いアクセスする必要がある場所がある場合、同じ工具を用いてクラス3エネルギー源にアクセスすることを制限するための要求事項の明確化
- ・コイン/ボタン電池の誤飲を防ぐための要求事項の変更
- ・アンテナ端子の絶縁に対しての要求事項となる5.4.5項は、屋内のアンテナだけに接続される場合、又は適切に接地されている場合は適用しないことを明確化
- ・バリスタが可燃性材料のエンクロージャから13mm未満にある場合、G.8.2が適用されることの明確化
- ・オーディオ信号に関する事項の明確化
- ・リチウムイオン電池のための防火用エンクロージャの要求事項の見直し
- ・スピーカーグリル等に使用される布などに対する難燃性の確認試験が付属書 S.6 として追加され、本文からの引用して適用できるようにする

【今後の予定】

7月27日～28日に開催予定の追加の会議にて合意を得た事項も反映させ、IEC 62368-1第4版のFDIS（最終国際規格案）を発行する予定としています。このFDISが可決されれば、IS（国際規格）として数ヶ月以内に発行されます。しかしながら、第4版に反映できなかった審議中の事項も多くあり、今後もこの規格のメンテナンス作業が続く予定です。

COVID-19の影響で対面会議ができない状況が続いていますが、IEC総会が10月末から11月初旬にかけ、対面形式の会議として開催される予定となっています。この会議の一部として、IEC/TC108/HBSDT会議及びTC108 Plenary会議も開催する予定としています。

【お問い合わせ先】電気製品安全センター

E-mail : center@jet.or.jp